



# 茶道

一服のお茶に、もてなしの心を学ぶ



# この教材の使い方

1

## 見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

## 「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

## 「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

## もくじ

|         |       |
|---------|-------|
| 茶道の入り口  | 3～6   |
| 茶室と道具   | 7～11  |
| お茶をいただく | 12～16 |
| 体験しよう   | 17～18 |
| おさらい    | 19～23 |
| 練習しよう   | 24～25 |
| ふり返り    | 26～30 |

# 茶道ってなに？

茶道は、お茶を通じて相手をもてなす、日本の伝統文化です。

茶道とは、**抹茶を点てて、相手をもてなす日本の伝統文化**です。  
ただお茶を飲むだけでなく、道具の美しさや季節を感じる心、相手を思いやる気持ちまでふくめて、ひとつの「道」として大切にされてきました。



## 茶道

さどう／sado

抹茶を点ててもてなす日本の伝統文化

茶の湯ともよばれる

## 点てる

たてる

茶せんで抹茶と湯をまぜて泡立てること

## ポイント

- 茶道は、お茶を「飲む」だけでなく「もてなす」ことを大切にします。
- 道具・作法・季節など、多くの要素が組み合わさってできています。
- 「道」という字には、一生かけて学び続けるという意味がこめられています。

## やってみよう

1. あなたが抹茶を飲んだことがあれば、そのときの感想を書いてみよう。

.....

2. 「もてなす」とは、どんな気持ちのことだと思いますか。

.....

## 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

# 茶道の歴史

茶道は、長い年月をかけて今の形になりました。



## 茶の伝来

cha no denrai

お茶が中国から伝わる

奈良～平安時代



## 茶の湯の広がり

chanoyu

武士や僧の間で茶を楽しむ文化  
が広がる

鎌倉～室町時代



## わび茶の完成

wabicha

千利休がわび茶を大成する

安土桃山時代

### ポイント

- お茶は、はじめ薬や修行の一部として、中国から日本に伝わったといわれています。
- 室町時代には、茶室で美術品を楽しむ「茶の湯」の文化が広がりました。
- 安土桃山時代に、千利休がかざらない美しさを大切にする「わび茶」を完成させました。

### やってみよう

1. 茶道の歴史の中で、いちばん印象に残った時代はどれですか。 \_\_\_\_\_

**ワンポイント** 「茶道」という呼び方が広く使われるようになったのは、江戸時代以降のことだといわれています。

### 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



# わび・さびと一期一会

茶道を支える、2つの大切な考え方を学ぼう。

## わび

wabi

質素で静かな中にある美しさ

## さび

sabi

時間がたって生まれる味わいや趣

## 一期一会

いちごいちえ／ichigo-ichie

この出会いは一生に一度だけと考え、大切にすること

### ポイント

- わびは「足りなさの中の豊かさ」、さびは「古びていくことの美しさ」を表す言葉です。
- 一期一会は、同じ顔ぶれの茶会でも、今日と同じ時間は二度と来ないという考え方です。
- この心がまえは、千利休の教えをもとに、のちの茶人が言葉としてまとめたといわれています。

### やってみよう

1. 身のまわりで「さび」を感じるものを1つ書いてみよう。 \_\_\_\_\_
2. 今日という日を「一期一会」だと考えると、どんな行動をしたくなりますか。  
\_\_\_\_\_

**ワンポイント** 一期一会は茶道だけでなく、日常の人との出会いを大切にすることの考え方としても広く使われています。

### 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

茶室

茶室は、日常からはなれた特別な空間です。

茶室は、お茶をいただくための特別な部屋です。多くは**四畳半（よじょうはん）**ほどの小さな空間で、にじり口という小さな入り口がついています。

天井は低く、土や木など自然の材料が使われ、静かで落ち着いた雰囲気をつくっています。



## ポイント

- 茶室は、日常の世界からはなれた「特別な場所」として設計されています。
- 広さや材料は流派や目的によってさまざまです。
- 小さな空間だからこそ、亭主（ホスト）と客の距離が近くなります。

## やってみよう

1. もし自分だけの茶室をつくるとしたら、どんな材料を使いたいですか。

## 書いて覚えよう

# にじり口・床の間とかけ軸

小さな入り口と、床の間の意味を知ろう。

## にじり口

にじりぐち／nijiriguchi

かがまないと入れない小さな入り口

## 床の間

とこのま／tokonoma

かけ軸や花をかざる特別な空間

## かけ軸

かけじく／kakejiku

床の間にかける書や絵の軸

### ポイント

- にじり口は小さいため、どんな身分の人でも頭を下げて入ることになり、茶室の中では皆が対等という考えを表しています。
- 床の間には、その日の茶会のテーマに合ったかけ軸や花が飾られます。
- かけ軸には、禅の言葉や季節を表す言葉が書かれることが多くあります。

### やってみよう

1. もし自分で茶会のテーマを決めるなら、どんな言葉をかけ軸に選びますか。

**ワンポイント** にじり口をつくったのは千利休だといわれ、刀を持ったままでは入れない大きさにしたという説があります。

### 書いて覚えよう

茶道具は、道具でありながら美術品でもあります。

水指

それぞれの道具には役割があり、美しさと使いやすさの両方が大切にされています。

- 茶道具は、実際に使う道具でありながら、美術品としても大切にされています。
- 季節や茶会の格式に合わせて、道具を選ぶことも茶道の楽しみのひとつです。
- 古い道具には、持ち主が大切に受けついできた歴史が刻まれていることもあります。

1. この中で、いちばん気になる道具はどれですか。理由も書いてみよう。

---

=====

## 書いて覚えよう

## 茶碗

茶碗には、季節や産地によるちがいがあります。

茶碗は、抹茶を点てて飲むための器です。形や大きさ、焼き方によってさまざまな種類があります。

夏は熱がこもりにくい浅く広い茶碗、冬は冷めにくい深い茶碗が好まれることが多いです。



## ポイント

- 茶碗には、正面とよばれるいちばん美しい模様の向きがあります。
- 客は茶碗を軽く回してから飲み、正面に口をつけないようにするのが作法です。
- 楽焼・萩焼・唐津焼など、産地によって特徴のちがう茶碗があります。

## やってみよう

1. もしお気に入りの茶碗をデザインするなら、どんな模様になりますか。

## 書いて覚えよう

## 茶せん・茶杓・なつめ

竹や漆でつくられた、道具のはたらきを知ろう。

## 茶せん

ちゃせん／chasen

抹茶を点てるための竹の道具

## 茶杓

ちゃしゃく／chashaku

抹茶をすくう竹のさじ

## なつめ

natsume

抹茶を入れておく小さな容器

## ポイント

- 茶せんは竹を細くさいて作られ、抹茶を手早くきめ細かく泡立てます。
- 茶杓は一杯分の抹茶をすくうための道具で、長さや形に流派の特徴が出ます。
- なつめは、形が果物のナツメに似ていることから名づけられたといわれています。

## やってみよう

1. 身近な道具の中で、竹でできているものを探してみよう。

## 書いて覚えよう

お点前

お点前には、一つひとつに意味と美しさがあります。

お点前（おてまえ）とは、お茶を点てて客に出すまでの、一連の動きや作法のことです。

道具を清める順番から、抹茶を点てて茶碗を出すまで、すべての動きに意味と美しさがこめられています。



## ポイント

- お点前は、無駄のない美しい動きになるよう、長い年月をかけて工夫されてきました。
- 流派によって、細かい手順や道具の置き方が少しずつちがいます。
- 一つひとつの動きを覚えることで、心も落ち着いていくといわれています。

やってみよう

1. ゆっくりとした動きで、お茶を入れるまねをしてみよう。

**ワンポイント** お点前を覚えるには何年もかかることがありますが、まずは「ていねいな動き」を意識するだけでも十分です。

書いて覚えよう

[illegible]

## 抹茶のいただき方・お菓子のいただき方

お菓子と抹茶をいただく、基本の流れを覚えよう。

お菓子から

抹茶の前にお菓子をいただき、あま  
で苦みを引き立てる

## 両手で受け取る

茶碗は両手で受け取り、軽くおじぎを  
する

## 茶碗を回す

正面に口をつけないよう、茶碗を軽く  
時計回りに回す

## 飲む

2〜3口で飲みきり、最後は少し音を立ててすすする

## 口をふく

飲み口を指かふきんで軽くふく

戻る

茶碗を元の向きに回してから返す

## ポイント

- お菓子は、指と懷紙（かいし）を使っていたのが基本です。
- 抹茶は熱いうちに、味わいながらいただきます。
- 作法は「相手を思う気持ち」から生まれた形なので、完璧でなくても大丈夫です。

やってみよう

1. 家でお茶を飲むとき、今日学んだ作法を1つ試してみよう。

## 書いて覚えよう

## 客のふるまい

客としてのふるまいにも、大切な心があります。

### お点前ちょうだいいたします

おてまえちょうだいいたします

お茶をいただく前の感謝の言葉

### 正客（しょうきやく）

shokyaku

客の中で代表となる人

#### ポイント

- 客は、茶碗の模様や道具の美しさをほめることも、大切なふるまいのひとつです。
- 正客は、他の客を代表して亭主に質問をしたり、感謝を伝えたりする役目があります。
- 静かに、ゆったりとした気持ちで過ごすことが何より大切にされています。

#### やってみよう

1. もし茶会に招かれたら、亭主にどんな言葉で感謝を伝えますか。

#### 書いて覚えよう

茶道は、季節や流派によって表情を変えます。

茶会には種類があり、体験できる場所もあります。

## chai

## 食事もふくむ正式な茶会

chakai

お茶とお菓子を楽しむ気軽な会

- 茶会には、正式な「茶事」と、気軽に参加できる「茶会」があります。
- お寺や文化施設、ホテルなどで、初心者向けの茶道体験ができることもあります。
- 動きやすい服装で参加し、正座がづらいときは無理せず伝えてよいとされています。

1. 近くで茶道体験ができる場所を、家の人と一緒に調べてみよう。

## 書いて覚えよう

写真集や動画、美術館の展示などで、本物の茶道具や茶室を見てみましょう。

- 同じ「茶碗」でも、形や色、厚みがひとつずつちがいます。
- 動画では、茶せんを振る速さや手の動きに注目してみましょう。
- 美術館では、実際に使われていた道具を間近で見られることがあります。

1. 写真か動画で見た茶道具の中で、気に入ったものを1つ書こう。

家でも、茶道の雰囲気を楽しむことができます。

## 由来と意味をおさらい

茶道の由来と意味を、もう一度確かめよう。

### ポイント

- 茶道は、中国から伝わったお茶の文化をもとに、日本で独自に発展しました。
- 千利休が完成させた「わび茶」の心が、今の茶道の基礎になっています。
- 一期一会の心は、今日という出会いを大切に考える考え方です。

### やってみよう

1. 茶道の由来を、自分の言葉で1文にまとめてみよう。

### 書いて覚えよう

京都など

楽焼・清水焼などが身近

寺社や文化施設での体験も豊富

多くの地域

## 部活動や地域教室が入り口に

地域の陶器が茶碗になることも

- 茶道は全国で楽しまれていますが、道具の産地や教室の数には地域差があります。
- 地元の焼き物が茶碗として使われることもあり、地域の文化ともつながっています。

## 江戸時代ごろまで

身分の高い人の教養のひとつ

## 茶室での特別な行事

## 現代

だれでも始めやすい

短時間で気軽に体験できる

書いて覚えよう



茶道って、正座ができないとダメなの？



今はいすに座って体験できる教室も多いから、心配しなくていいよ。



お茶はすごく苦いイメージがあるけど、大丈夫かな？



お菓子を先に食べると、苦みがやわらいで飲みやすくなるよ。

- 正座がむずかしい場合は、いすを使える教室や体験も増えています。
- 抹茶の苦みが苦手でも、お菓子と合わせると食べやすくなります。
- 作法をまちがえても、気にしすぎなくて大丈夫です。

## マナーと注意点

安全に、気持ちよく体験するための注意点です。

### ポイント

- 熱い抹茶や湯を使うときは、やけどに注意し、必ず大人といっしょに行いましょう。
- 茶碗などの道具は割れやすいものが多いので、両手でていねいにあつかいましょう。
- 茶会や体験教室では、香りの強い香水などをさけるのがマナーとされています。

**ワンポイント** 時計や指輪など、道具を傷つけそうなアクセサリーは、体験の前にはずしておくで安心です。

### やってみよう

1. 体験や茶会に参加する前に、気をつけたいことを1つ書き出してみよう。

### 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

## 基本の言葉

☐ 茶道

抹茶を点ててもてなす文化

☐ 点てる

茶せんで抹茶を泡立てること

☐ お点前

お茶を出すまでの一連の作法

## 心がまえ

☐ わび

質素で静かな美しさ

☐ さび

時間がつくる味わい

☐ 一期一会

この出会いを大切にする心

## 道具

☐ 茶碗

抹茶を飲む器

☐ 茶せん

抹茶を点てる竹の道具

☐ 茶杓

抹茶をすくうさじ

## 空間

☐ 茶室

お茶をいただく部屋

☐ にじり口

小さな入り口

☐ 床の間

かけ軸や花を飾る空間

**ワンポイント** 覚えた言葉に✓をつけよう。茶道の言葉を知ると、体験するときの理解がぐっと深まります。

## 書いて覚えよう

## 復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

## 1. 言葉と意味を線でむすぼう

- |      |   |                   |
|------|---|-------------------|
| 茶碗   | ● | ● ア. この出会いを大切にする心 |
| 茶せん  | ● | ● イ. 小さな入り口       |
| にじり口 | ● | ● ウ. 抹茶を飲む器       |
| 一期一会 | ● | ● エ. お茶を出すまでの作法   |
| お点前  | ● | ● オ. 抹茶を点てる竹の道具   |

## 2. わび茶を完成させた人物は？

1. \_\_\_\_\_

## 3. わびとさびのちがいを説明しよう

1. わび： \_\_\_\_\_

2. さび： \_\_\_\_\_

## 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 書いて覚えよう

# 家族や友だちに話してみよう・英語で紹介してみよう

学んだことを、いろいろな相手に伝えてみよう。

伝える相手

茶道とは

いちばん驚いたこと

体験してみたいこと

## Ken の例

伝える相手 おばあちゃん／茶道とは 抹茶を点ててもてなす文化／驚いたこと にじり口の意味／体験したいこと 実際にお点前をしてみたい

**Sado is a traditional Japanese tea ceremony.**

サドウ イズ ア トラディショナル ジャパニーズ ティー セレモニー

茶道は、日本の伝統的な茶の儀式です。

**It values hospitality and quietness.**

イット バリュース ホスピタリティ アンド クワイエットネス

もてなしと静けさを大切にしています。

書いて覚えよう

## もっと知りたい人へ

茶道の世界は、ここからどんどん広がります。

## もっと知りたい人へ

## 茶道教室へ

地域の教室や体験講座に参加する

## 美術館で

茶道具の展示を見に行く

## 動画で

お点前の映像をじっくり見る

## 次のステップ

## 華道

茶室を彩る花の文化

## 和菓子

お茶とともに味わう甘味の文化

## 着物

茶会にふさわしい装い

## ポイント

- この教材の次は「華道」。お茶とともに空間を彩る、花の文化を学びます。

## 書いて覚えよう

## 学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

## まとめ 自分の言葉で書こう

1. 茶道とは、どんなものですか。 \_\_\_\_\_
2. いちばん心に残った言葉や考え方は？ \_\_\_\_\_
3. これから挑戦してみたいことは？ \_\_\_\_\_

茶道ミッションカード

## MISSION 1

家族にお茶をいれて、両手でわたしてみる

## MISSION 2

## 美術館や資料で茶道具を試してみる

### MISSION 3

にじり口のように、小さな入り口を見つけて絵にかく

## MISSION 4

茶道の言葉を1つ、友だちに教える

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

## 書いて覚えよう

# 茶道チャレンジ

教室の外でも、茶道の心はすぐに実践できます。

## 見つけよう

身近な場所で**和の空間**（畳・床の間など）を探す

## 調べよう

地元にある**茶道教室**や体験できる場所を調べる

## 伝えよう

茶道の心である「**もてなし**」を、身近な人に実践する

## こたえ

L28 茶碗→ウ 茶せん→オ にじりロ→イ 一期一会→ア お点前→エ  
2 千利休／3 わび＝静かな美しさ、さび＝時間が生む味わい

L33 （例）茶道は、抹茶を点てて相手をもてなす日本の伝統文化。

## 書いて覚えよう

### 茶道（Season 6 | No.51）

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。